

GOVERNOR'S

5

MONTHLY LETTER

Vol.11

ロータリー
特別月間
5月

青少年奉仕月間

RI第2650地区基本方針

未来へつなぐ

北野天満宮 青もみじ苑 ライトアップ





国際ロータリー第2650地区
2025-26年度ガバナー

小 崎 学 (京都北ロータリークラブ)

地区大会も何とか無事に終わることができ、風薫る新緑の季節となってまいりました。地区大会本会議でガバナーバッチの引継ぎを致しました。感慨深いものがありましたが、しかしこれは一連のセレモニー上のことであり、すぐに箱に入れて保管しました。6月末までの任期を終えるまでパストガバナーバッチはお預けにしておきます。今のこの時期は周年記念式典を執り行われるクラブも大変沢山あります。公式訪問とは違う華やかさや和やかさも、ガバナーとしては楽しいひとときであります。ロータリークラブ以外のご来賓の方々との交流もその一つであり、そのクラブの地域との関わりを知る良い機会でもあります。

さて今月は青少年奉仕月間です。ロータリーは、地元や世界で奉仕を通じた、リーダーシップを促進するプログラムを生み出していきました。最初のインターアクトクラブは1962年11月5日に米国フロリダ州のメルボルン高校で設立されました。インターアクトは、高校生がリーダーシップのスキルを身につける機会となりました。大した意味は有りませんが実はこの翌日に私は生まれました。現在、当地区において、私の母校にもインターアクトクラブがあり活動しています。高校時代の恩師の先生が校長になられ、その方が、ロータリークラブに入会されたのが、きっかけだったそうです。これを知ったのも私がクラブ会長時代に、そのクラブの周年記念式典に参加させて頂いた折に、他クラブの幹事さんが偶然クラスメートだったので、先生にご挨拶させて頂き、そのクラブのインターアクトの事を伺いました。その時、先生とクラスメート、私の三人で乾杯したビールはとても美味しかったです。余談ですが先生が「お前らようロータリーに入れたな！」と笑いながら話されたお顔は今も忘れられません。その後お亡くなりになりましたが、生きておられたら「小崎お前がガバナーか！」と笑い飛ばされたでしょう。

青少年プログラムに参加させて頂くとき、自分の若かりし頃を重ね合わせ、思うのは人に胸を張って堂々と「私は充実した青春時代を過ごしました」とは言え無い事です。私の母校は当時も今もスポーツの盛んな学校で、今は部によって全国から、当時でも各部に京都や近隣の府県から猛者が集まる学校でした。しかも男子校で1学年15クラスというマンモス校でした。その頃は完全な競争社会でした。食堂で昼食を取るのも、水飲み場で水を飲むのも、全て早い者勝ちが当たり前。簡単に言えば生存競争の日々でした。そんな中で一年生の終わり頃には、部活動で挫折した生徒がクラスに溢れていました。そして私もその一人でした。身体は元気。しかし、これといった目標も無い日々の連続、その競技が嫌いになった訳ではなく、ケガや故障、人間関係等、諦めざる得ない理由はそれぞれにありました。今の若者たちの中にも、ジャンルは様々あれども、目標を失って、悶々とした日々を送っている方がおられると思います。

地区大会の青少年奉仕フォーラムでお招きした尾身 茂先生が会場の青少年の参加者にお話された内容で、「皆さん目標、夢を持って大いに失敗を繰り返して下さい。」「失敗を恐れて何もしない事のほうが虚しい事です。」とお話になりました。私は今この歳になって、何も成し遂げる事が出来なかった学生時代も、決して無駄な時間はなかったと思います。

今も昔も、自分の行き場所や、居場所が無い人は多いと思います。現代社会では私の若い頃のように、一目で解る様な不満が充満している若者は減りましたが、現代は表面に見えない孤独感を持っている人もいます。青少年プログラムに大切なものは、若者に失敗から何かを学んで頂く事ではないでしょうか。マネジメント理論の本や AI でリーダーシップを習得することができるのでしょうか。人間関係の複雑さや価値観の違いなど、簡単に理解できるものではないと言うことが、判るだけでも十分なプログラムだと思います。夢を叶える事、目標を達成する事は容易な事ではありません。クラブの未来もまた同じ事ではないでしょうか。しかし失敗を恐れず、目標に向かって仲間と行動する事がロータリーの楽しみと思えばいかがでしょうか。

地区青少年奉仕委員会の役割は大きく分けて2つあると思っております。

一つ目は当地区内のロータリー活動に関わる全ての青少年が安全に活動できるよう環境を整えることです。そのためにRIが定めた青少年保護のためのガイドラインを各クラブの皆さんに理解して頂く必要があります。まずは青少年が事故やハラスメントに遭わないようにすることが一番ですが、万が一起こってしまった時の対処が大事になります。青少年と一言でいっても年齢に幅があり、未成年と成人とでは対応が変わってきます。そういったことを知らずに対処を誤ってしまうとクラブ存続の危機、地区の青少年交換の認定取り消しなど重大な事態に陥ってしまいます。そうならないために危機管理の知識、ルールを理解して頂く必要があります。この事は青少年を守るだけでなく、ロータリークラブを守ることにもなります。この事は2回の青少年奉仕担当者会議にてお伝えしてきました。青少年保護と危機管理については担当理事（委員長）だけでなくクラブ全体で共有して頂きますようお願い致します。

もう一つは地区内の青少年奉仕活動の連携をスムーズにすることです。当地区には3つの青少年プログラム、それに加えローターアクトや学友があります。そしてそれぞれに担当委員会があり、それぞれが活動をしています。その担当委員会が縦割りの活動だけでなく、横の連携が取れば、より効果的な活動ができるようになります。例えば青少年交換学生とインターアクターが交流すれば互いにとって国際交流になります。またローターアクターとインターアクターが交流することで、ロータリーファミリーとしての絆が深まります。このように青少年により良い経験を与えられるように各委員会が連携を取れるよう懸け橋となるのが青少年奉仕委員会の役割だと思います。

最後に地区のHPにクラブにおける青少年の保護と危機管理についてナレーション付きのパワーポイントの資料をダウンロードできるようにしております。ぜひご覧頂き、クラブで共有して頂きますようお願い致します。

地区青少年奉仕委員長 徳尾 隆次 (京都西RC)

パワーポイント資料

		未成人	成人
対象		<ul style="list-style-type: none"> ・インターアクター・青少年交換学生 ・未成年のRYLA受講生 ・ロータリーの事業に関わる全ての未成人 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人のRYLA受講生・米山奨学生 ・ローターアクター・学友・財団奨学生 ・ロータリアン・成人の一般ボランティア
対処1	身の安全が脅かされていると感じる場合は、警察に相談する		
対処2	クラブ役員（クラブ会長または幹事）、地区リーダー（地区ガバナーまたは地区ガバナーエレクト）、あるいはゾーンのリーダー（RI理事）に通知する		
対処3	青少年がかかわるハラスメントまたは虐待の申し立てはすべて、72時間以内に国際ロータリーに報告しなければならない。	問題について国際ロータリーのクラブ・地区支援室に報告する。	
最終連絡先	youthprotection@rotary.org	cds@rotary.org	



資料のダウンロードはこちらから

2026年3月1日

学校法人 YIC YIC 京都

2026年3月1日(日)に会員増強アクション会議を開催させていただきました。多くのロータリークラブに卓話に行かせていただく中で、質問であるのが『会員増強をしていく上で会員が一気に増える特效薬はありますか?』というような質問を

いただきます。そのような特效薬があれば、どこのクラブも会員増強に困ることはありませんとお答えしていますが、今回会員増強アクション会議でお呼びした国際ロータリー第 2840 地区のバスターガバナー田中久夫氏は、高崎ロータリークラブでご自分が会長のときに 51 名の会員増強に成功されており、その成功体験を含めた講演をお願いしました。

田中久夫氏が会長に就任される直前の 2014 年 6 月末は高崎ロータリークラブの会員が 64 名(女性 0 名)で、平均年齢が 60 歳でしたが、一年経った 2015 年 6 月末では会員 115 名(女性 7 名)、平均年齢は 50 歳代前半に大きく変化しました。

以前は、例会出席者は 40 名前後で、毎回来る人が決まっており、その多くはシニアであり、いつも同じテーブルに集まって座るため、若い人にはそれに疎外感を感じていました。そこで、クラブ運営の核となる委員長を若返らせ、皆で若い候補者を中心に会員増強をしようと動き始めました。月に 1 度皆で飲みながら各自が新会員候補者リスト(20 名程度)を持ち寄り、その名簿に優先順位を付けて、その場で電話作戦を繰り返すことで、その中の半数くらいはクラブの説明を聞きたいということになり、翌日には必ず直接出向き、説得されました。その結果、51 名の増強に成功されましたが、51 名の入会を獲得するためには、その 5 倍の 250 名以上の方々に声を掛けられています。

このように積極的に会員を増やすために増強に係るメンバーが努力をすることと、入会した方が辞めないようにサポートしていくことが、会員増強には必要不可欠であるということです。

また、今回は昨年末に 96 クラブの皆さまにご協力いただいた会員増強アンケートを元に、小崎ガバナー、平野ガバナーエレクト、田中誠二バスターガバナー、そして田中久夫バスターガバナーにも参加していただき、パネルディスカッションを行いました。それぞれの想いを熱く語ってくださり、参加した皆様からもすごく良い会員増強アクション会議だったと好評価をいただきました。

会員増強委員会のメンバーも今回のアクション会議に向けて企画し、頑張ってきたことが実った感じがして良かったです。会員増強は 1 日にして成らず。本年度 6 月 30 日が終わったときに、2650 地区の会員が純増で 100 名を超えているように残り 3 カ月頑張っ活動して参ります。

地区会員増強委員会 委員長 中嶋 慶喜(甲賀RC)



先日開催いたしました「職業奉仕・社会奉仕委員会合同奉仕フォーラム」に、多くの皆様にご参加いただき、心より御礼申し上げます。本フォーラムは、両委員会が連携して実施する新たな試みとして開催され、多くの学びと気づきを共有する貴重な機会となりました。前半の京都府医師会 会長 松井道宣様のご講演は、職業奉仕の本質を改めて考えさせられる内容であり、災害や非常時においても社会生活を止めないことが、私たち職業人の大きな使命であると強く認識いたしました。そのためには、私たち自身が職業を通じて地域に根差した役割を果たすことが求められます。また、「誰かがしてくれる」のではなく、「自らが担う」という共助の精神で主体的に行動することの重要性も示されました。さらに、災害はいつ起こるか分からないからこそ、平時からの備えを怠らず、被害を最小限に抑える意識と行動が不可欠であると感じました。



後半の実践事例報告では、地区内3クラブによる社会奉仕プロジェクトの発表が行われました。それぞれのクラブが地域の課題に着目し、地域住民や関係団体と連携しながら活動を展開されており、奉仕の理念を具体的な行動へと結びつけている姿が大変印象的でした。また、本年の小崎ガバナーが提唱される地区基本方針『未来へつなぐ』に通じるものであり、ロータリーの奉仕の理念を未来へ受け継いでいく大切さを改めて感じる内容でありました。“理念から実践へ”という本フォーラムのテーマを改めて実感する、有意義な事例発表となりました。

最後に、本フォーラムで得た学びが、各クラブ・会員の皆様の具体的な実践へとつながることを期待しております。



発表クラブと発表者様・事業名のご紹介

- <大和高田RC 吉岡 弘修 様>
大和高田歴史ウォーク「大和高田のランドマーク“高田川”の歴史再発見」
- <甲賀RC 石神 義隆 様>甲賀市鉄道利用促進事業
- <福井RC 中田 善弘 様>福井ロータリー みらい育成プロジェクト



当日の様子を
動画で
ご覧いただけます



地区職業奉仕委員長 矢野 雅史 (京都洛西RC)
地区社会奉仕委員長 宮倉 靖幸 (五條RC)



地方の衰退

福井第1グループ ガバナー補佐 **松田 祐一** (大野RC)

大野ロータリークラブが存在する大野市は、福井県の南東に位置し、岐阜県との県境を接する町です。全国1741市区町村の中で、48番目に面積が大きく、ほとんど山と森林ですが福井県の約20%を占めます。しかし、少子高齢化により、全盛期47000人以上いた人口は、28,000人まで減少しました。

昭和53年に誕生した大野ローターアクトクラブも、一昨年47年間の活動に終止符を打ちました。特に、20代、30代の若者が町にいないのです。この出産可能な年代の減少は、極端な少子化に拍車をかけます。令和7年度の出生数は、110人台まで減少しました。今後25年間で、45%の人口減少が予測されています。労働力や後継者不足は、会社や店舗の閉鎖を招き、町の多様性低下により、さらに若者は都会へ流出するという悪循環に陥ります。これは大野市に限定されたことではなく、全国の地方で起こっている現実と思われま

す。当地区 2025-26 年度小崎学ガバナーの基本方針は「未来へつなぐ」です。地方がいか

かに衰退しようとも、会員増強や維持が困難になろうとも、この地域のロータリー活動を未来に向けて継続維持していかねばなりません。地方に明るさを届けられるような、あるいは地方創生に結びつくような奉仕活動が望まれます。地方の衰退は、難しい問題ではありますが、抜本的な解決策が必要かと思われま

す。未来永劫に続くロータリー活動をめざしてがんばりましょう。



万博会場（夢洲）での思い出

福井第3グループ ガバナー補佐 **大刀 隆雄** (武生府中RC)

2025年4月から日本国際博覧会が大阪市夢洲で開催されましたが、大阪での万博の開催が55年ぶりという

ことで5月30日（金）に行きました。

ただ今回の話は万博の話でなく、この開催地である夢洲のことであります。

今から23年前の2002年8月にボーイスカウトの第13回日本ジャンボリーがこの夢洲にて開催されました。それまでの日本ジャンボリーは、高原であったり自衛隊の訓練場であったりと人里から離れたところで開催されて

いましたが、この時は都市型開催としてこれから開発する埋め立て地での会場でした。広い道路が縦横にとおり、これから企業が進出する会場にフェンスが張り巡らされた中を野営地として12~13のサイトに2万人くらいの日本及び世界中のスカウトたちが集まって祭典を繰り広げました。私はその時は1つの野営区の野営本部長として活動をしていました。その野営区はちょうど夢洲へ入ってくる橋の下りてきた所の西側にありました。野営区サイト内はフェンスに囲まれていたため、外部からの侵入の恐れはないからサイト内での安心感はあり

ましたが、フェンスの外から眺めると正に難民キャンプと感じたことを思い出します。

そんな思い出のある夢洲へ23年ぶりに訪れるということで、バスの中から興味を持って覗き込んでいました。そしていよいよ橋を渡り下りてきた所で多分ここだろう見入ってきましたが、そこにはまだ建物は立っておらず、フェンスで囲まれて盛り土でかさ上げされている状態でした。建物が建っていれば分からなくなっていると思

いますが、わずかに記憶が蘇ってくるようでした。

4年に一度のボーイスカウトの日本ジャンボリーは、私は昭和34年開催の第2回日本ジャンボリーから参加が始まり、平成30年に石川県珠洲市で開催された第17回日本ジャンボリーまで数多く参加してきました。小学5年生から始めたボーイスカウト活動も現在は第一線から退き名誉職のみとなっています。今は福井第3グループのガバナー補佐を拝命していますが、私のボーイスカウト福井連盟の理事長をしている時お世話

になった福井県教育長が福井第2グループのガバナー補佐の林雅則氏であることはご縁を感じるものであります。これからもご縁を大切にしていきたいものです。

2026年2月会員数の増減および出席率表

京都府(42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
綾部	27	0	0	27	25	4	2	96.00
福知山	43	0	0	43	42	2	1	89.25
福知山西南	50	0	0	50	49	2	1	93.63
亀岡	31	0	0	31	31	1	1	100.00
亀岡中央	13	0	0	13	13	0	0	72.72
京丹後	24	0	0	24	22	2	0	81.82
京都	205	0	1	204	193	16	5	99.12
京都伏見	91	0	0	91	88	5	2	77.72
京都平安	18	1	0	19	18	1	0	89.00
京都東	88	0	0	88	86	3	1	86.59
京都東山	50	0	0	50	52	0	2	77.92
京都北東	17	0	0	17	17	0	0	76.83
京都イブニング	13	0	0	13	12	1	0	58.33
京都城陽	27	0	0	27	27	0	0	82.17
京都桂川	39	0	0	39	35	4	0	74.49
京都北	59	1	0	60	56	6	2	80.56
京都南	257	0	1	256	252	12	8	77.46
京都モーニング	41	0	0	41	39	3	1	
京都紫野	40	2	0	42	37	5	0	73.84
京都中	37	0	0	37	35	2	0	86.60
京都西	96	0	0	96	94	3	1	99.62
京都乙訓	39	0	0	39	32	7	0	93.62
京都洛中	75	1	0	76	73	4	1	100.00
京都洛北	75	0	0	75	73	3	1	100.00
京都洛南	26	0	0	26	27	0	1	81.24
京都洛西	52	0	0	52	51	2	1	75.00
京都洛東	40	0	1	39	38	3	2	84.38
京都嵯峨野	22	0	0	22	20	2	0	77.27
京都さくら	35	0	0	35	30	5	0	74.20
京都西北	22	0	0	22	21	1	0	86.31
京都西南	51	0	0	51	48	4	1	83.70
京都紫竹	23	0	0	23	23	1	1	79.17
京都朱雀	42	0	0	42	42	2	2	82.29
京都田辺	14	0	0	14	15	0	1	100.00
京都山城	10	0	1	9	12	0	3	88.88
京都八幡	14	0	0	14	15	0	1	96.70
舞鶴	27	0	0	27	28	0	1	81.25
舞鶴東	32	0	0	32	32	0	0	76.87
宮津	24	0	0	24	21	5	2	87.09
園部	22	0	0	22	20	3	1	96.90
宇治	30	0	0	30	29	4	3	84.17
宇治鳳凰	33	0	0	33	31	2	0	82.69
小計	1,974	5	4	1,975	1,904	120	49	

奈良県(14クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
あすか	45	0	0	45	45	0	0	88.77
五條	21	0	0	21	19	4	2	86.85
平城京	11	0	0	11	7	4	0	66.67
橿原	50	0	0	50	49	3	2	82.60
奈良	138	0	0	138	132	10	4	88.40
奈良中央	22	0	1	21	20	2	1	45.00
奈良東	23	0	0	23	19	4	0	77.81
奈良西	21	0	0	21	20	1	0	71.40
奈良大宮	67	0	0	67	64	3	0	100.00
桜井	11	0	0	11	9	2	0	90.50
大和郡山	39	0	0	39	40	0	1	92.17
やまとまほろば	23	0	0	23	22	1	0	93.28
やまと西和	26	0	0	26	26	1	1	88.00
大和高田	86	1	0	87	87	3	3	92.16
小計	583	1	1	583	559	38	14	

滋賀県(21クラブ+1衛星)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
びわ湖八幡	96	1	1	96	92	7	3	81.00
(びわ湖八幡フォロ ー-サテライト)		(1)	(1)	(30)		(5)	(1)	
五個荘能登川	31	0	0	31	31	1	1	81.60
東近江	40	0	0	40	40	0	0	75.64
彦根	46	1	0	47	46	3	2	77.10
彦根南	54	0	0	54	54	1	1	67.39
甲賀	36	0	1	35	32	5	2	88.20
湖南	44	0	0	44	41	3	0	92.48
草津	33	0	0	33	31	2	0	87.87
守山	49	0	0	49	44	6	1	95.79
長浜	57	0	0	57	54	4	1	86.49
長浜東	58	1	0	59	58	1	0	89.25
長浜北	31	0	0	31	29	4	2	68.54
近江八幡	38	0	0	38	37	2	1	92.59
大津	121	0	0	121	114	9	2	100.00
大津中央	19	0	0	19	21	0	2	75.43
大津東	15	0	0	15	18	1	4	90.00
大津西	19	0	0	19	19	1	1	70.18
栗東	60	0	0	60	59	4	3	78.74
高島	52	0	0	52	51	1	0	100.00
野洲	36	0	0	36	31	5	0	92.45
八日市南	46	0	0	46	47	0	1	93.81
小計	981	3	2	982	949	60	27	

福井県(18クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
福井	141	0	0	141	126	18	3	82.10
福井あじさい	52	1	0	53	51	2	0	68.23
福井フェニックス	51	0	0	51	46	5	0	75.16
福井東	48	0	1	47	46	2	1	82.98
福井北	103	0	1	102	102	3	3	70.03
福井南	23	0	0	23	23	1	1	82.61
福井西	22	0	1	21	22	1	2	81.09
福井水仙	22	0	0	22	22	2	3	54.54
勝山	21	0	0	21	22	1	2	75.00
丸岡	30	0	0	30	27	3	0	67.47
三国	17	0	0	17	17	0	0	96.00
大野	40	0	0	40	39	2	1	79.04
鯖江	31	0	0	31	34	0	3	74.18
武生	45	0	0	45	43	2	0	85.60
武生府中	21	0	0	21	23	0	2	80.09
敦賀	25	0	0	25	23	2	0	72.94
敦賀西	13	1	0	14	13	1	0	82.14
若狭	15	0	0	15	12	3	0	83.34
小計	720	2	3	719	691	48	21	

Eクラブ(1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
日本ロータリー Eクラブ2650	24	0	1	23	25	1	3	
小計	24	0	1	23	25	1	3	

合計(96クラブ+1衛星)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計
合計	4,282	11	11	4,282	4,128	267	114

■表作成にあたって

- ・会員数に、名譽会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、2月会員数および入退会者累計数は2月末現在です。
- ・「期首会員数」は、2025年6月末会員数より、7月1日退会者1名を引いた数です。
「退会累計」は、7月1日退会者1名も含んでおります。
- ・ロータリー衛星クラブ(サテライトクラブ)の入退会者数はスポンサークラブに含んでおります。

巡り歩き 歳時記

越前陶芸村「第44回越前陶芸まつり」

福井

新緑の越前陶芸村で、一期一会の器に出会う

新緑が目には鮮やかな季節の散策を兼ねたお出かけに最適な、福井県越前町の「越前陶芸まつり」をご紹介します。日本六古窯の一つに数えられる越前焼のふるさとで、歴史と手仕事のぬくもりに触れるひとときはいかがでしょうか。

会場となる越前陶芸村は、平安時代末期から続く越前焼の再興を願い、若き陶芸家たちの拠点として誕生した歴史を持ちます。現在は「都市公園 100 選」にも選ばれる広大な自然に包まれ、散策するだけでも心が洗われるような開放感に満ちています。

まつりの目玉は、町内外から 60 以上の窯元が集結する福井県最大級の陶器市で

す。作家から直接作品のこだわりを聞きながら、自分だけの一客を探す時間は、愛好家にとって至福のひとつ。新緑の下で催される「さつきあげ茶会」も、この時期ならではの風雅な楽しみです。

伝統の技が息づく陶芸の里で、お気に入りの逸品と出会い、春の穏やかな一日をゆったりと過ごしてみませんか。

※状況により内容が変更される場合があります。詳しくは公式サイトをご覧ください。

越前陶芸村「第44回越前陶芸まつり」

越前陶芸村（福井県丹生郡越前町小曾原）

2026年5月30日(土)・31日(日) 各日 9:00～17:00

詳しくはホームページをご確認ください



2026年2月 会員の動き

入会者

クラブ名	氏名	職業分類
京都平安	中村 光宏	和菓子製造販売
京都北	サクレ シュテファン	コンサルタント
京都紫野	谷口 晴弥	和菓子製造
京都紫野	猪坂 尚美	建築
京都洛中	青田 尚大	不動産コンサルタント業
びわ湖八幡フォローサテライト	増田 裕吉	建設業
彦根	垣見 昌伸	生命保険
長浜東	藤田 敦子	生命保険業
福井あじさい	寺尾 昭太郎	不動産業
敦賀西	平本 瑞基	電気工事事業
大和高田	松倉 圭吾	LPガス販売業

退会者

クラブ名	氏名
京都	太田 裕久
京都南	小竹 治
京都洛東	川面 幸司
京都山城	田中 良典
びわ湖八幡フォローサテライト	西山 亮平
甲賀	高木 浩樹
福井西	西畑 二郎*
奈良中央	巽 房子
日本ロータリーEクラブ2650	春井 優雅

※ 名誉会員へ

ご逝去

クラブ名	氏名
福井東	青山 憲三
福井北	三田村 浩貴

(順不同・敬称略)

Kyoto Shiga Fukui Nara



国際ロータリー第2650地区
2025-26年度 ガバナー
小崎 学

ガバナー事務所

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地

関電不動産京都ビル5階520号室

TEL:075-343-2650 / 075-353-2650 FAX:075-343-2651

E-mail: gov2025-26@rid2650.gr.jp